

しかし、農村の環境整備は、都市生活の環境と異なり、ただ単にゴミ処理や垣根・花壇の設置をすればいいというものではありません。

農村環境を考える場合

- 広い農地・宅地を所有している
- 生産に関する施設（納屋・農機具庫・畜舎・サイロ・堆肥場など）が多くある
- 生産・生活のゾーン（区域）が同居している
- 屋敷林・防風林・山などの借景の自然がある
- 作物・家畜などの景観を引き立てる物がある
- 土地・家・地域などの歴史的背景が存在している

このように、農村環境整備とは個々の家から地域や市町村まで、広範囲のものまでを含めた考え方が必要となります。

つまり、農村の環境整備とは農村景観を加味したものということになります。



写真3 バドックの周辺に花・桜の木が植栽された景観